

## 令和2年度「教育活動についてのアンケート」の分析 (12月実施分)

早春の候、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より本校の教育活動に対しご支援ご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、本校では一年を通じて、教育目標である『やさしく思いやりにあふれ、自他の健康安全を心がけ、確かに学ぶ子の育成』の実現に向け、取り組んでまいりました。

### <重点項目>

- 1, 組織的な学校運営 (目標達成に向けて一丸となるチーム学校の構築)
- 2, 確かな学力の育成 (教師の授業力向上と児童の学力向上)
- 3, 豊かな心の育成 (教師の学級経営力向上と児童の人間関係力向上)
- 4, 健やかな体の育成 (児童のたくましく生き抜く力の育成)
- 5, 家庭・地域との連携 (開かれた学校、信頼される学校づくり)



以下、それぞれの重点項目についてのアンケート結果と分析・今後の方策です。

※記載の%は「1:あてはまる」と「2:どちらかといえばあてはまる」の合計です。

### 1, 組織的な学校運営について ※児童アンケートの回収率は97.6%です。 ※( )内の数値は今年度9月のものです。

①(児童)学校は、楽しいですか。	100% (98%)
(保護者)お子さんは、学校に行くことが楽しい。	96% (90%)
(教師)児童が楽しさを感じる学級経営に取り組んでいる。	100% (100%)

多くの児童が、「学校は楽しい」と感じています。これは、自分の成長や達成感が感じられる授業や活動、縦割り班などつながりや認め合いを大切にした取り組みの成果と考えることができます。今後も学びの楽しさを感じさせる「授業の工夫」や互いに高め合うことの意義や楽しさを感じられる「学級づくり」を進めていきます。

②(児童)困ったことがあったら、先生に相談できますか。	88% (94%)
(保護者)学校は保護者の方が子どもさんのことで悩んでいるときに相談にのってくれる。	98% (97%)
(教師)児童の困り感や悩みに向き合っている。	100% (100%)

保護者と学校とは相談しやすい関係を維持しています。しかし児童の中には、先生に相談しにくくなったと感じている子もいますので、今後は家庭との良好な関係を活かしながら、児童の悩みに対して適切な対応が取れるよう、全職員で努力していきます。



## 2, 確かな学力の育成について

③(児童)授業は、わかりやすいですか。

(保護者)お子さんは、学校の授業が分かっている。

(教師)分かる・できる授業を工夫している。



98% (97%)

90% (91%)

100% (100%)

学習については、良好と言えます。しかし、「すぐ忘れてしまう」「応用がきかない」など、その定着や理解の深さに課題がある児童もいます。繰り返し学習や間違ったところの直しなど通して、基礎的な学習内容の定着を図るとともに、日々の授業のまとめとして適用問題(その授業の学習要素が入った応用問題)に取り組むことで理解度の確認をおこなっていきます。

④(児童)(低)宿題を忘れずにしていますか。(高)学年×10分+10分の家庭学習をしていますか。97% (98%)

(保護者)お子さんは家庭学習の習慣が身についている。

85% (85%)

(教師)家庭学習の習慣化を進めるため、家庭学習の手引きを活用し、働きかけている。100% (89%)

家庭学習は良好です。宿題を忘れがちだった児童も家庭学習強化週間の取り組みや担任の粘り強い指導で改善して来ました。しかし、自主的に取り組むことを期待する保護者の評価はやや低く、児童とのギャップが見られます。今後は、保護者からのコメントを活かして、児童の家庭での努力をより認めていくとともに、「もっとやってみたい」「詳しく調べてみたい」という意欲が家庭学習につながるような授業を目指していきます。

## 3, 豊かな心の育成について

⑤(児童)(低)友達にやさしくしていますか。(高)友達に対して思いやりの心で行動していますか。100% (99%)

(保護者)お子さんは、友達に対して思いやりの心で行動している。

94% (95%)

(教師)道徳の授業を要とした道徳教育を推進し、児童に思いやりの心を育てている。100% (100%)

「思いやりの心」については良好です。「思いやりの木」の取り組みにより、友達の良さや思いやりの行動について、具体的に考える機会を持つことができたことが優しい言葉かけや気配りにつながっているようです。現在の雰囲気大切に、今後も教師自身が思いやりの行動をキャッチする力を高め、思いやりの心を大切にする学級づくりを進めていきます。

⑥(児童)(低)自分からだれにでもあいさつしていますか。(高)だれに対しても自分から挨拶をしていますか。97% (96%)

(保護者)お子さんは、家庭・地域の人に自分から挨拶をしている。

94% (90%)

(教師)自発的なあいさつを促す場の設定や指導を工夫している。100% (90%)

「あいさつ」については良好です。これは、委員会活動等、児童の積極的な取り組みの表れと言えます。今後も児童の自主的な取り組みを推進するとともに、「あいさつ」は相手に元気を届けたり、自分の中にある前向きなスイッチを入れたりするものであるという考え方を広めていきたいと思えます。

#### 4. 健やかな体の育成について

- ⑦(児童) 体育の時間やほかの時間に体をよく動かしていますか。 98% (95%)  
(保護者) お子さんは、遊んだりスポーツをしたりして日頃から体を動かしている。 87% (88%)  
(教師) 体育の時間やその他の時間の工夫で一人一人に体力の増進に努めている。 100% (100%)

運動面については、コロナ禍で制限が多い中ではありますが、良好な状態が続いています。今後も、ハッピースポーツ体育祭等で運動の機会を設けるとともに、教科体育の中で充実した活動ができるよう工夫していきます。また、目的意識を持って取り組むことで感じられる「できる喜び」や「やり切る喜び」、「自分自身の成長」をより実感させていきたいと思えます。

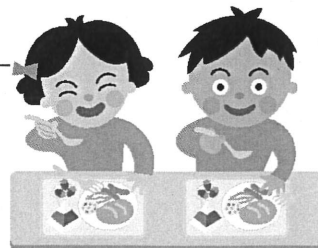


- ⑧(児童) (低)早寝・早起き・朝ごはんをしていますか。(高)早寝・早起き・朝ごはんなど規則正しい生活をしていますか。 93% (93%)  
(保護者) お子さんは、規則正しい生活(早寝・早起き・朝ごはん)を送っている。 85% (88%)  
(教師) 元気カードやノーメディアデーなどの機会を活用して、規則正しい生活を指導している。 100% (100%)

「規則正しい生活(生活リズム)」については、児童アンケートでは良好と言えそうです。しかし、保護者の評価とは差が見られます。この原因の一つとして、家庭におけるメディア視聴(ネット利用)等の影響が考えられます。今後、ノーメディアデーを有効活用するなど、家庭と連携した対応を考えていきたいと思えます。その際は、個別に家庭との連携が必要となる場合もありますので、規則正しい生活の定着に向けて、ご協力をお願いいたします。

- ⑨(児童) 給食を時間内に食べたり、好き嫌いしないで何でも食べたりしていますか。 93% (94%)  
(保護者) お子さんは、好き嫌いなく食事をしている。 83% (77%)  
(教師) 給食を時間通り、残さず食べられるよう意識して指導している。 100% (100%)

「食べること」については良好です。引き続き、学校給食での残食はほぼ0で、多くの児童が好き嫌いしないで食事をしています。また、体が成長するにつれて、食事にかかる時間も少し短くなってきました。今後も、バランスのとれた食事の大切さを考えさせることを通して、家庭と連携して食育を進めていきたいと思えます。



## 5, 家庭・地域との連携について

⑩(児童)お家の人と学校の話をしてしていますか。	91% (90%)
(保護者)学校は、教育目標や教育方針、学校の様子を分かりやすく伝えている。	94% (95%)
(教師)おたよりや連絡帳等で児童や学校の様子を随時お知らせしている。	100% (100%)

学校から家庭への情報提供は良好と言えそうです。家庭で学校での出来事を話す児童はさらに増えており、これは各家庭において親子・家族の会話やふれあいが大切にされていることの表れと言えます。この状況を維持できるよう、これからもおたよりやホームページの更新など、積極的な情報発信をおこなっていきます。また、家庭での会話のきっかけとなるよう、おたより等の内容を工夫していきたいと思えます。

### ◎後期学校関係者評価委員会より (会合で出された意見や質問とそれに対する回答です。一部抜粋)

Q.アンケートの実施方法は、記名式か。

A.児童と教職員は記名式で実施している。保護者については、基本無記名だが、アンケート項目以外にご意見を書かれた方には任意で記名していただいた。

Q.児童数が少ない学校においては、%で判断するのは難しくないか。

A.児童数で考えると1人の違いは1%以上の違いとなり、数人の違いが比較的大きな数値となって表れる。内容によっては、その数値だけを捉えると分析を誤る場合もあるので、これまでの取り組みや日常の児童の様子を踏まえた上で判断する必要がある。

Q.特別支援学級の児童は、他の学級の児童と一緒に学習する時間はあるか。

A.一緒に学習する時間は設定されている。どの教科を一緒に学習するかは、各年度が始まる前に保護者と相談し決めている。

Q.帰宅後、ゲームをする時間が長い児童がいると聞いたが実情はどうか。そのことに関して育友会も何かできればと考えている。

A.まず実情を把握するため、ノーメディアデーのお知らせにアンケート等を入れることを検討している。それを踏まえた上で、育友会とタイアップした取り組みをおこなっていききたい。

Q.1人1台パソコン(GIGA端末)が貸与されるが、使い方の決まりはあるのか。何が正しいか分かりにくい時代だが、使い方の指導はしっかりとしてほしい。

A.GIGA端末については、白山市で共通の指導項目(使い方のきまり)がある。現在は、それを踏まえながら基本操作習熟に向けて取り組んでいる。この端末に限らず、スマートフォンなど各種情報機器の使い方について、これから考えていくべきことは多い。

